

「我が家のルールとして何か決めてありますか?」と、テレビから聞こえてきました。私の家にはどんなことがあるか考えてみると、

「いつてきます」「ただいま」は、家族を探して、顔を合わせてあいさつをする。

お風呂から出たら、次の人におさきに!」と声をかける。

食べ終わった食器は、各自で流しまで運び、洗いおけにしっかり入れる。

などがルールとしてあります。みなさんの家庭ではどんなルールがありますか。

このような三行詩を見つけました。

「テレビオフ」家族のごはんで「会話はオン」(中学一年生)

冷房代 節約するため リビング集合 団欒復活猛暑に感謝

「思春期の子を持つ母」
ごほうびは おもちやかうより
だっこして(小学一年生)

* 出典 文部科学省公式ホームページ

これらは、家族で話し合い思いついたこと、家庭のルール、基本的な生活習慣づくりなどを短文に表現したものだそうです。

ありがとう その一言がうれしくて また、がんばるよ お手伝い(小学五年生)

「ねえ 聞いて」夕飯作りのキ

♡♡♡♡ 「家族の絆・我が家のルール」

ツチンは 今日の出来事 報告
会(保護者)

* 出典 大分県PTA連合会機関紙「はぐく美」

それぞれの家族の様子や絆が伝わってきますね。私の家のルールも「ルール」というと厳しい響きがありますが、どの決め事も家族一人一人が互いの夢や考えを出し合って決めました。ルールを決めて守ることにより、家族のコミュニケーションも増え、絆を深めることにつながっていると思います。

「我が家のルール」は各家庭によつてさまざまですが、話し合いを持ち、一緒に取り組むことで、お互いを思いやり、家族の関係を大切にしようとする願いがあるのだと思います。

みなさん、家族だらんの時間を持ち、我が家のルールを話し合い、お互いを思いやる心を育ててみてはいかがでしょう。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

お問い合わせは
人権啓発広報委員会

(880・6569) まで